

2019 Season



第4回



ゴール  
ドッジ

大会報告書

2020年3月10日

日本ドッジビー協会

## 【開催要項】

主 催 : 日本ドッチビー協会 DBJA

主 管 : 千代田区ドッチビー協会 DBAC

日 程 : 2020年2月23日(日曜日)

場 所 : 千代田区立麴町中学校 体育館 千代田区平河町2-5-1  
東京メトロ線 永田町駅5番出口より徒歩3分、赤坂見附駅より徒歩7分

協 賛 : 文化シャッター株式会社  
ワタミ株式会社

## 【競技方法】

<部門構成> 7チームを3チームの【小・中学生部門】と4チームの【オープン部門】の二つ

<対戦形式> 【小・中学生部門】 = 総当りリーグ戦を2回戦、全6試合で順位を決定。

【オープン部門】 = 総当りリーグ戦をおこない、予選順位を決定。  
オープン部門は3位決定戦、決勝戦をおこなう。

<試合人数> 全試合 4人 vs 4人

<試合時間> リーグ戦=7分の前・後半。ハーフタイムは90秒。引き分けあり勝点制

オープン3位決定・決勝戦  
=10分の前・後半。ハーフタイムは120秒。同点は延長戦

## 【大会スケジュール】

詳細は別紙、[スケジュール表]をご参照ください。

## 【参加チーム一覧】

チーム名称	人数	主構成
【小・中学生部門】		
・チャレンジファイターズ(荒川区)	8	小学2年 <初出場>
・M. D. Cペディ(武蔵野市ドッジビークラブ)	8	小学3～5年
・M. D. Cロキ (武蔵野市ドッジビークラブ)	6	小学6・中学1年
【オープン部門】		
・M. D. Cウィル(武蔵野市ドッジビークラブ)	5	中学・高校・大学生
・NDCヤソップ(西新井ドッジビークラブ)	8	中学・高校・社会人
・style (クラブチーム)	5	20代社会人
・ちくちくハニー (クラブチーム)	5	高校2年

◆合計チーム数 : 7チーム

◆参加選手総数 : 45名

◆観戦・引率保護者数 : 約30名

▲大会関係者総数 : 12名

大会関係者 総合計	約90名
-----------	------

## 【表彰】

各部門の優勝／準優勝を表彰

結果は別紙、[対戦結果表][3決／決勝戦結果]をご参照ください。

## 【講 評】

2020年2月23日(日曜日)、新たに天皇誕生日、祝日となったことで翌月曜日が振替休日となる日程で、ゴールドマッチ大会の会場としては恒例ですが久しぶりとなる麴町中学校での開催でしたが12チームを募集しました結果、申込みは7チームにとどまりました。

3連休の中日となったこともあるかと思いますが、それよりも新型コロナウイルスの影響であらゆるイベントが中止となる事例が本番数日前から顕著になり始めた頃で、本大会も前日、土曜日夕方まで会場主管の千代田区ドッジビー協会と実施可否について確認・相談を繰り返し、当初計画より全体の時間を短縮して実施することにいたしました。



集まった7チームの内訳は小学生中心で構成された2チーム、小・中学生の混成が1チーム、高校生以上での構成が4チームとなり、高校生以上の4チームをまとめて【オープン】として、残りの3チームをまとめた【小・中学生】とした2部門を構成しました。

参加チームが予定した数より少なかったこと、ならびに時間短縮での開催にした対応としては朝のスタッフ集合時間は遅く設定し、さらに全体の終了時間を早めるため、集まった選手全員を二つに分けての実施を予定した紅白戦を中止したのは残念でしたが、これら変更の事情について千代田区ドッジビー協会 池田会長より開会式において参加者、観戦の保護者の皆さんに説明がありました。



開会式の後、10時より試合開始。【小・中学生】は小学生同士の試合はとても微笑ましく、かわいく、観ている側も思わず笑みがこぼれる、楽しいものでした。



しかし、中学生が入っているチームのスコアを見ればチカラが圧倒的であったことは一目瞭然！

【小・中学生】を括っても対戦するどちらのチームも本当の意味で楽しめているのか？との疑問を抱かざるをえず、ゴールドタッチが抱える運営上の問題点として以前より認識はしているものの解決策が見つからない、現実があります。



具体的に言うと今回の【小・中学生部門】の対戦に限らず、ゴールドタッチにおいては身長差による高さや年齢差によるスピードの差は大きく結果を左右することは明白で対戦する部門やカテゴリーはある程度、同等レベルに設定する必要があると考えています。

しかしながら絶対数(チーム数)が少なく、カテゴリズ自体が成立しないことが常々、悩ましく感じていましたが、この解消に本気で取り組む必要性を痛切に感じました。



一方の【オープン部門】は順位決定戦を見ると1点差の試合で、予選リーグでも結果の点差ほどに実力に差があるとは感じず、見ごたえある面白い試合が繰り広げられていました！！

表彰は二つの部門ともに優勝／準優勝としました。表彰副賞は文化シャッター様より各種フリクションペン、ならびにワタミ様のお食事券(千円券)を贈呈、DBJAからデッドストックのドッチビーディスクを進呈。さらにスポンサー両社様には参加賞も頂戴しました。



今回の大会は残念なことや課題が浮き彫りになることが多かった中、新規の参加チームが  
出場してくれたことはとても喜ばしく、ここでチームをご紹介します。

### — <チーム紹介> —

- チーム名称 チャレンジファイターズ
- 活動拠点 荒川区立瑞光小学校
- 以下、インタビュー



- ・同じ小学校の2年生仲間  
(一部、保育園時代の同級生で別の小学校の子も)
- ・同じ小学校では5年生のチームもあり、普段の練習  
は一緒におこなうこともあります。
- ・4年生のチームもありましたが残念ながら解散。

- ・ディスクドッジも、ゴールドドッジも、どちらも、おこなっています。
- ・区のスポーツ広場(小学校体育館19:30~21:30)で経験したことが始めたきっかけ。
- ・ドッジビーは大人も、子どもも、親子で一緒にできるところがとても良い。
- ・この和を広げていきたい、と考えてます。

「今日は初めてゴールドドッジ大会に参加しま  
したが、とても楽しくできました。」

次はディスクドッジ大会が楽しみです！！

#### ■DBJA より

ディスクドッジ、ゴールドドッジの両方を2年  
からおこなうとは！！ 今後は楽しみです！



最後に、話が本大会からは逸れて恐縮ではありますが、この大会以降、3月中に予定されて  
いた主催行事は許より、講習会なども  
含めた全ての予定が無くなったことで  
この大会が結果的には年度内最後の  
DBJA行事となり後々まで忘れること  
のできない大会となりました。

関係各位にご理解・ご協力を頂きまして  
実施できましたことを御礼いたします。

ありがとうございました。

